

PACシール認定仕様書

国土交通大臣認定

認定番号 PS060WL-0393 (壁)

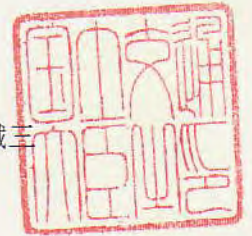
関西パテ化工株式会社

認定書

国住指第 1961 号
平成 19 年 10 月 12 日

関西パテ化工株式会社
代表取締役 川上 好光 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060WL-0393

2. 認定をした構造方法等の名称

ケーブル・電線管・被覆材付銅管／けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・被覆材付銅管／けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	円形（φ210mm以下）
	面積	0.0347m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対するケーブル・管の断面積の総合計の割合)		30.2%以下
貫通する壁の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート 厚さ：100mm以上

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及びケーブル・管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様		
		材料	けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材
	密度	1.35±0.1g/cm ³	
耐熱シール材 (以下、充てん材という)	組成 (質量%)	難燃材	76.8以上
		(水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム系の金属水和物)	
		無機質バインダー(けい酸ナトリウム系)	8以下
		繊維類(ガラス繊維)	2
		その他(分散剤、着色剤、膨張剤及び安定剤)	13.2
	充てん量	隙間が無いよう密に充てん(隙間に奥行き100mm以上)	

表3 申請仕様のケーブル・管の構成材料

項目		申請仕様		
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	100mm ² 以下(1本あたり)		
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質		
	介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート又はポリプロピレン		
	絶縁体	架橋ポリエチレン系	厚さ	2.0mm以下
		塩化ビニル系		
	シース	ポリエチレン系	厚さ	1.5mm以下
塩化ビニル系				
電線管	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)		
	呼び方	PF管		
	外径	45.5mm以下		
被覆材 付銅管	被材覆	材料	ポリエチレンフォーム(JIS A 9511)	
		厚さ	10mm	
	銅管	材料	銅管(JIS H 3300)	
		外径	25.4mm以下	

4. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1に示す。

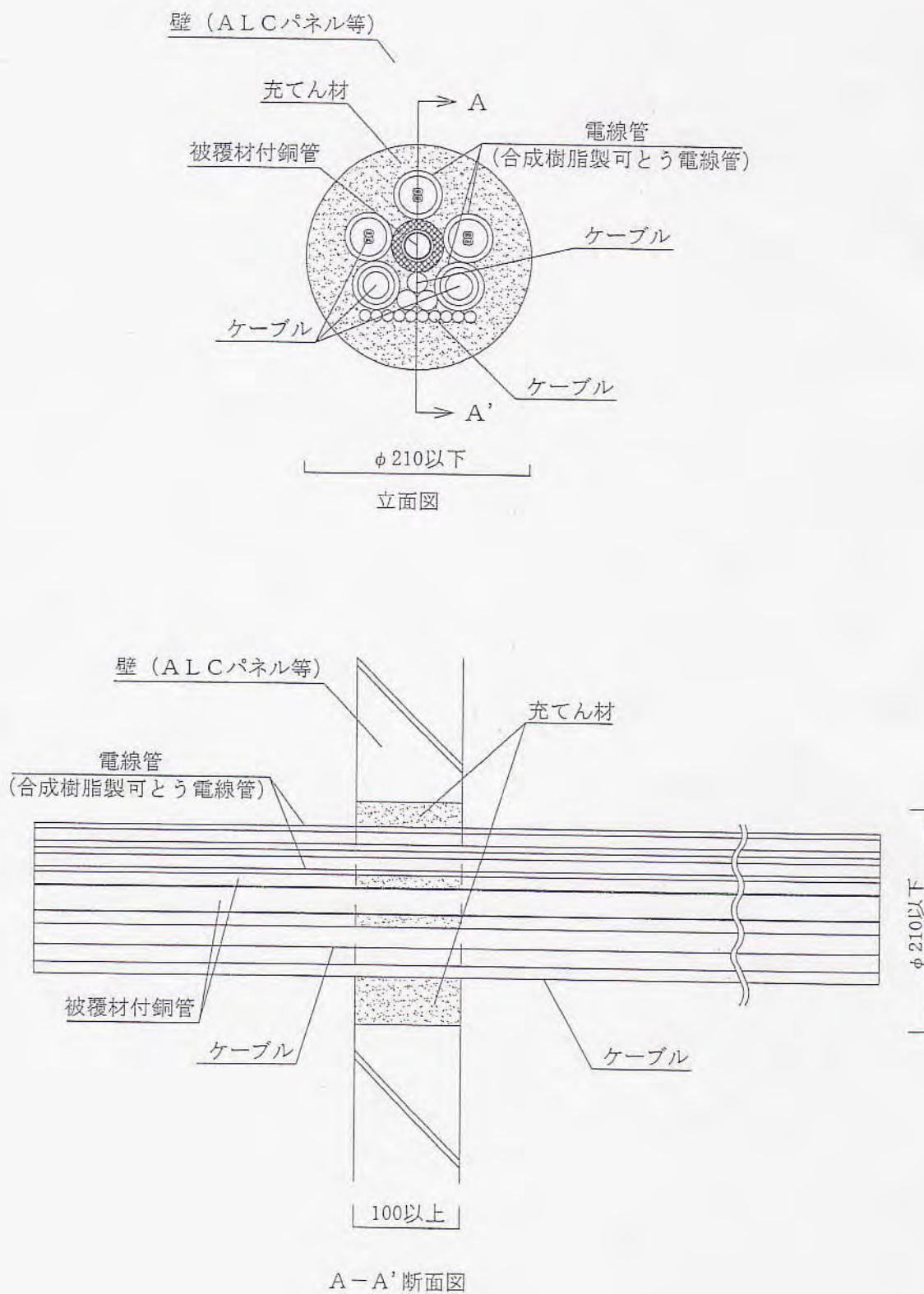


図1 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図2に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口面積、ケーブル・管サイズ、管占積率、壁の仕様及び壁厚を確認する。

(2) 開口部の清掃及び既設物の防護

施工前に、ケーブル・管及び開口部廻りの埃、油分、水気等を除去する。

(3) ケーブル・管等の設置

開口部の寸法及び形状に合わせて各ケーブル・電線管等を設置する。

(4) 充てん材の充てん

ケーブル・管の間に充てん材を密に充てんする。(隙間に奥行き100mm以上充てんする。)

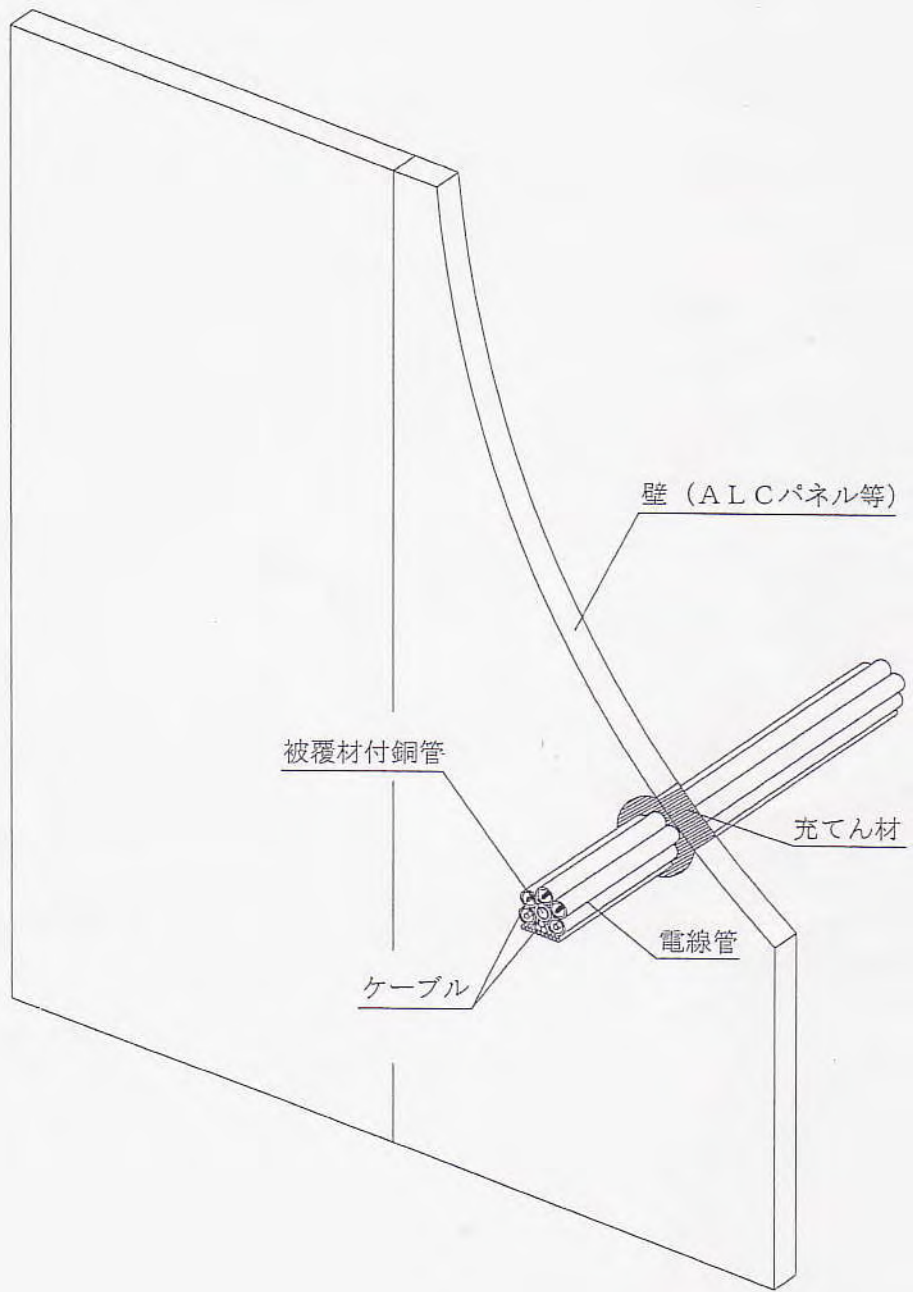


図 2 施工図